

中小企業でもできる
脱炭素経営

カルネコ株式会社

2023.1

会社概要

社 名 カルネコ株式会社

本 社 東京都中央区日本橋本町 4-8-16

従業員数 36名（2022年3月末現在）

事業案内 店頭販促の企画・製作

会社設立 2016年 カルビー株式会社から分離・独立

当社の製品 (1)

販促POP



当社の製品 (2)

販促什器



フロア什器



半円什器



吊下什器



屋台什器

1. 自社が取り組む社会的課題を明示する



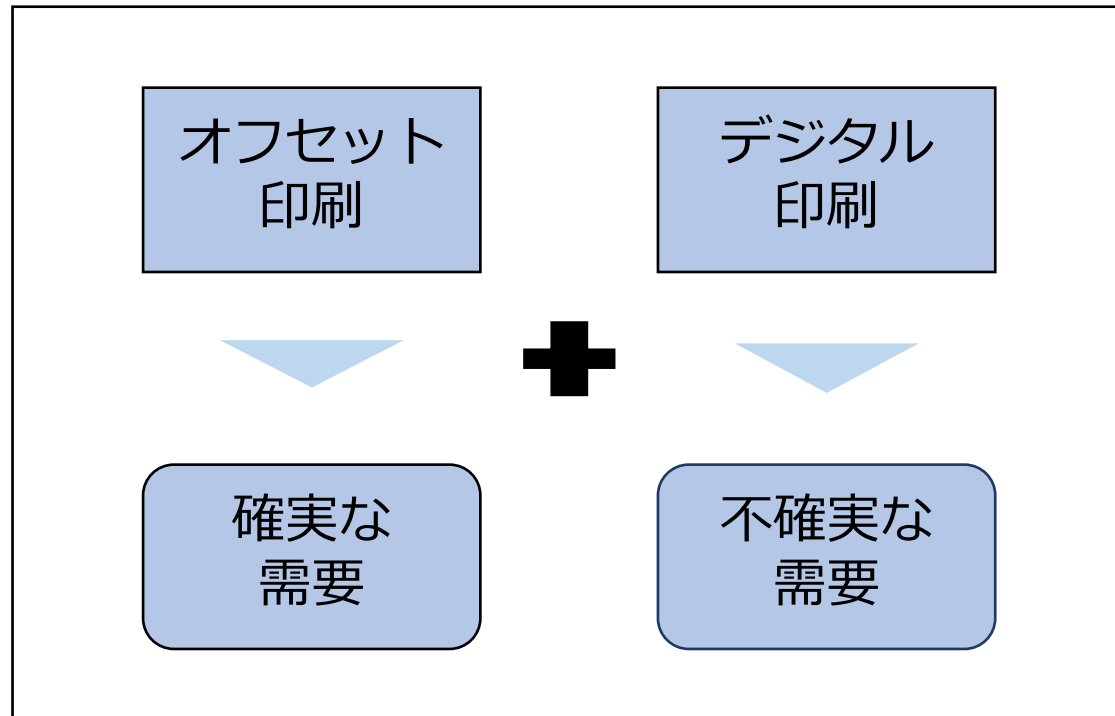
「販促ロスをゼロにする」

店頭販促物のムダは「フードロス」と似ています。

私たちは、多めに作って捨てるという「常識」を変えていきます。

2.社会的課題の解決策として自社事業を位置づける

販促物のオンデマンド供給



私たちは、販促物をオンデマンドで供給するという仕組みを作り、パイオニアとして事業を始めました。

私たちの事業モデルは、それ自体が持続的社会的の実現に貢献するものです。

3. 製品はカーボン・オフセット

Certificate of Carbon Offset
カーボン・オフセット証明書

2020年11月20日

株式会社 様

SAMPLE

下記の通り2019年度に貴社からご発注いただいたPOPツール類と外装資材の製造に係るCO2排出量を全量カーボン・オフセットして納品したことを証明します。

オフセット量 Quantity of carbon	0.385 (t-CO2)
オフセットの対象 Subject of carbon offset	POPツール類および外装資材
完了日 Date of defacement	2020年8月1日
オフセット対象:	
POPツール数 (年間)	1,770
ツール原材料等 CO2 量	0.274 t-CO2
エネルギー CO2 量※	0 t-CO2
外装材出庫数 (年間)	365
外装材 CO2 量	0.111 t-CO2
CO2 量 合計	0.385 t-CO2
クレジット種別: J-クレジット	

※2019年度の電力エネルギーは再生エネルギーを併用して、すべて削減して再エネ100%で賄っております。
カーボン・オフセットは、SDG目標6「水と衛生」の削減目標の達成に貢献しています。

カルネコ株式会社
代表取締役
松元 英徳
184-0014 Matsuyama / Fukuoka / OGD
〒100-0004 東京都千代田区大塚 1丁目 6-1 大塚町ビルディング 401 室

カルネコはカーボン・オフセットを通じてSDGsを推進しています。

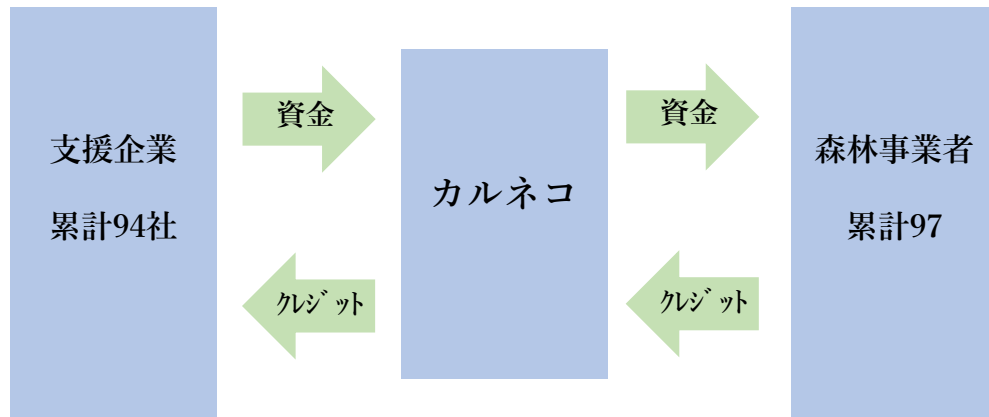
GOALS

CalNeCo

Certificate of Carbon Offset

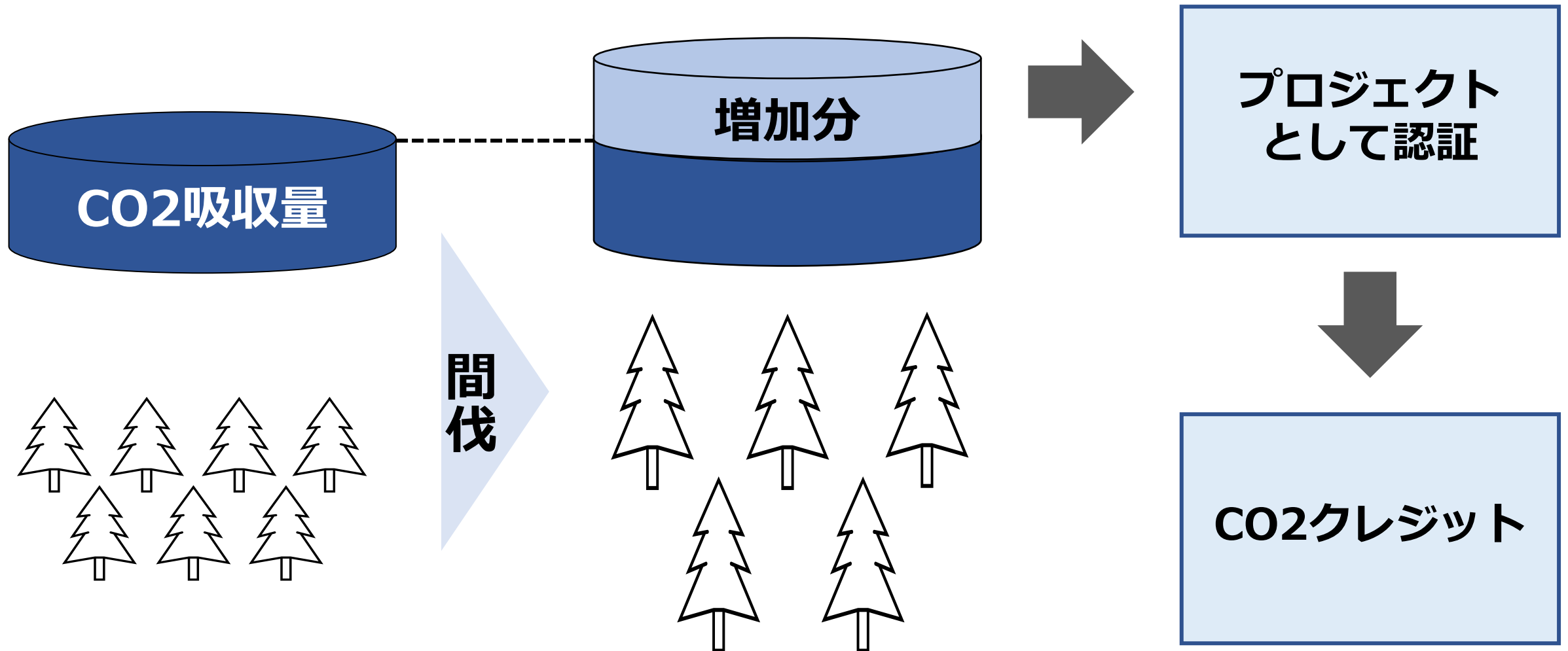
- 当社が供給する紙製品は、CO2クレジットを使って、原則としてすべてカーボンオフセットしています。
- ご要望のあったお客様には、「カーボン・オフセット証明書」を発行しています。

4. CO2クレジットによる森林への貢献（1）



- 日本全国で累計97の森林事業者とネットワークを作りました。
- これを活用して、企業によるCO2クレジットを使った販促キャンペーンの仕組みを提供しています。

4. CO2クレジットによる森林への貢献（2）



4. CO2クレジットによる森林への貢献（3）



【事例】 国分グループ本社
「日本の果実」 1缶に
つき1円を拠出し、産地周
辺をはじめ、日本各地の森
を支援する。

4. CO2クレジットによる森林への貢献（4）

年度	購入件数	購入量
2012年度	101	1,249
2013年度	129	869
2014年度	194	883
2015年度	87	1,985
2016年度	125	1,297
2017年度	154	483
2018年度	123	1,078
2019年度	186	1,398
2020年度	184	1,495
2021年度	161	1,518
総計	1,453	12,255

購入量：CO2トン

- 弊社のCO2クレジット仲介は、寄付型の小口取引に特化した社会貢献活動です。
- その独自性、継続性、取引量の多さから、関係団体より高い評価を頂いています。

5. 再エネ100宣言 RE Actionに参加

再エネ100宣言 RE Action



- 再エネ100宣言 RE Actionとは、企業、自治体等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進するという枠組みのこと。
- 弊社は再エネ100宣言を行い、自社工場、自社オフィスについて、100%再生可能エネルギーへ転換済み。

6. 環境問題に真剣に取り組むサプライヤー

主力サプライヤーである株式会社光陽社は、環境問題に積極的に取り組む先進企業です。



責任ある森林管理
のマーク

適正に管理された森林より産出された材料を使い、消費者の手に渡るまでの工程が適切に管理されていることを認証するFSC認証の取得



全事業所の電力を再生可能エネルギー100%化することを目標とし、再エネ100宣言に参加



CO2削減目標について、SBTiより、中小企業向け検証ルートにおける認定を取得

(注) SBTiは、2015年に設立された国際的なイニシアチブで、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガス削減目標に対して、科学的根拠に基づいているかの検証を行い、認定を付与しています。



印刷物のライフサイクルで産出されるCO2を算定し、全量をカーボンオフセットすることでCO2排出量を実質ゼロにする「環境配慮型プリント」を推進

印刷物のCO₂排出量を
算定して「見える化」

7. SMETA監査で適正評価を取得



- SMETA監査 (Sedex Members Ethical Trade Audit) は、グローバルサプライチェーンにおける企業倫理の向上を目的として策定された国際的な監査スキーム。
- 労働・安全衛生・環境・ビジネス倫理という4つの分野にわたって監査が行われ、その結果が会員企業に対して開示される。

8. 弊社の受賞、報道、書籍掲載

日付	名称	内容
2015年12月	第5回カーボン・オフセット大賞 特別賞	CO2クレジットの売買マッチング及び同クレジットの流通の活性化を目的とした環境貢献型のプラットフォーム「EVI (Eco Value Interchange)」を平成23年3月より開始し、「寄付型オフセット」の先駆者としてその普及拡大を推進したことが評価されました
2018年12月	第19回グリーン購入対象 優秀賞 (中小企業部門)	当社のPOP事業そのものが環境貢献的であること、また、環境事業者・企業・消費者をつなぐ環境貢献プラットフォームEVIの取り組みを推進していることが評価されました
2020年2月	東北カーボンオフセット大賞 東北地域再エネ推進部門	2019年度の弊社オフィス、工場の電力使用量386MWhを東北産再生可能エネルギー由来クレジットで賄う等、再エネ化への活用にとともに、再エネの普及モデルとなる取り組みであることが評価されました
2021年6月	日刊工業新聞で「環境貢献基盤、顧客に提供」として弊社が紹介されました	「カルネコはPOP製作において無駄を無くすだけでなく、環境貢献できる仕組み、つまりCO2吸収量を取引できる国のクレジット制度を利用して温暖化対策に貢献ができる持続可能な新たな習慣を根付かせている。(一部抜粋)」と紹介されました
2021年12月	BS11の経済報道番組「NEXT Company」で弊社が紹介されました	第2部の「フロントランナーニューノーマル」のコーナーにて、販促物の無駄をなくす弊社の取り組みが紹介されました
2022年2月	東北地域カーボン・オフセットグランプリ SDGsカーボン・オフセット賞	東北地域のクレジットを活用したカーボン・オフセットを積極的に展開し、脱炭素社会を始めとするSDGsの達成に寄与したことが評価されました
2022年11月	「地域金融×サステナブルファイナンス入門」(経済法令研究会)	地域金融機関の職員を対象とした研修用資料の性格を持つ本書において、弊社が、中小企業におけるSDGsへの取り組みの好事例として紹介されています

弊社の活動とSDGs目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1. 自社が取り組む社会的課題を明確化
2. 事業モデル自体が環境貢献型
3. 供給する紙製品はカーボンオフセット
4. CO2クレジットを通じて森林の保全・育成に貢献
5. 再エネ100宣言 RE Actionに参加
6. SMETA監査で適正評価を取得
7. 環境問題に真剣に取り組むサプライヤーと協業
8. 弊社の受賞、報道、書籍掲載

販促ロスをゼロにする

CALNECO